



- ①バックグラウンドは日本で最大級の日本語学校
- ②現地法人との連携による優秀な人材の発掘。徹底的な事前教育
- ③生産現場への高い適応訓練
- ④高い「志」を持ち、自立した技能者になれる資質を持つ人材

お申込み・お問合せ

協同組合 ASSIST



〒811-1313 福岡市南区日佐 5-9-5

TEL 092-502-0803
FAX 092-502-0802

外国人技能実習生

技能実習制度のご案内



この制度の目的

- ①発展途上国の産業基盤を担う若者に技能・知識を習得させることで、国際的な視野に立った、地域社会のリーダーを育てます。
- ②アジアの途上国に技術移転することで、彼らの母国の発展を図り、貧困による紛争等を未然に防ぎ、地域の安定に貢献します。

実習生受入れの メリット

- ①計画的な技能実習生の導入により、効率的に労働力を確保できます。
- ②勤勉で意欲の高い途上国の若者により、職場が活性化します。
- ③実習生指導の為に作業や効率化の見直しを図られ、現場が改善されます。
- ④職員の国際的視野が広がり、海外進出の際の基盤構築や人材の確保につながります。



協同組合 ASSIST

技能実習生 お申し込みから帰国まで

受入れにかかる費用



技能実習生候補者は、現地の送り出し機関訓練校で、535 時間以上の訓練(日本語・日本式マナー・早朝ランニングなど)を受けます。

実習生候補者の人選は、原則 ASSIST と現地法人が行いますが、企業様に選考に加わって頂くことも可能です。

入国管理局が審査いたします。

送出機関と現地法人の日本式管理体制の中：日本語 日本の慣習・礼儀 4S(整理・整頓・清潔・掃除)について徹底的に習得します



宿舎準備：生活に必要な宿舎・用品をご準備ください。

日本最大級の日本語学校「西日本国際教育学院」のプロの教師陣による徹底した日本語教育を行います。

技能検定受検に向けて対策教育をお願い致します。



帰国までの 2 年 11 ヶ月の間、毎月、技能実習生への訪問指導を行います。また、定期的な日本語指導を行い、日本語能力試験 N3 級の合格を目指します。

帰国後の彼らの活動を視野に入れた教育をお願い致します

● 受入人数枠 (1 社につき・1 年で)

常勤従業員数	30 人以下	31~40 人	41~50 人	51~100 人	101~200 人	201~300 人	301 人以上
受け入れ可能人数	3 人まで	4 人まで	5 人まで	6 人まで	10 人まで	15 人まで	常勤人数の 20 分の 1

日本入国時	往路 渡航費 (実費)	<p>—— 組合加入について ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出資金として 1 万円を申し受けます。(組合脱退時にご返却します) ● 組合賦課金として企業様 1 社につき毎月 2,000 円を申し受けますので、技能実習生受入れ管理費と一緒に支払いをお願いします。
講習期間 (1ヶ月)	監理費 ……30,000 円(1 人・1 ヶ月あたり) 講習費 ……100,000 円(1 人・1 ヶ月のみ) 実習生手当 ……60,000 円(1 人・1 ヶ月のみ)	
技能実習期間 (2年 11ヶ月)	監理費 ……30,000 円(1 人・1 ヶ月あたり) 賃金 ……法律で定められた、最低賃金以上の額 健康保険 厚生年金 労災保険 雇用保険	
帰国時	復路 渡航費 (実費)	

- 宿 舎 ——
- 企業にて受け入れ後の 2 年 11 ヶ月間は社宅か周辺のアパート等をご準備ください。
 - 講習期間の 1 ヶ月間は ASSIST の講習センター (シリウス会館) で生活します。

入国時・講習センター
〒811-1313
福岡市南区日佐 5 丁目 9-5
シリウス会館



- 帰国後の技能実習生たち ——
- 現地法人と連携し、現地の日系企業への就職や、日本で習得した技能を活かしての独立等を支援します。
 - 日系企業にとっては、日本語が分かり、日本のやり方に順応した現地社員を雇用することができます。

— ご挨拶 —

私たちは業種が違う多くの中小企業で構成されている協同組合です。私は、日本の高度経済成長と共に成長する中で、数多くの日本人の勤勉さ、真面目さ、奉仕の精神に接して参りました。それは日本の成長を支えた最も大きな要因と考えております。当組合は労働力の高齢化・グローバルビジネスの競争を踏まえ、世界的視野に立った優れた人材を支援することを理念としています。積極的に社会貢献を行い、その上でより多くの企業の皆様、その力を最大限かつ効率的に活用しつつ共に発展していきまそう、応援していく所存です。より多くの皆様のご賛同をスタッフ一同、心より祈念しております。

令和三年九月吉日

協同組合 ASSIST
代表理事 安部有樹